

# 市民の力

# 行政の力



上矢作小学校で、児童に読み聞かせを行う「ブックサポーターかみやはぎ」のメンバー。学校や保育園とも連携し活動している。

複雑で多様化する市民ニーズや、まちづくりの課題に  
える方法として、今、「協働」が注目されています。「協働」  
は市民・企業・行政が、お互いに連携し、協力し合う、ま  
ちづくりの新しい形です。

高齢化や核家族化など、地域によって抱える課題や問題  
点は違います。それぞれの課題に合った解決策を見つけ  
ていく方法として、市民や行政などが力を合わせていく  
「協働」は有効な手段です。

「協働」は、まちを元気にする特効薬となる可能性も秘め  
ています。今回は、「協働」の最新事例と行政が提案する協  
働事業を紹介します。

問い合わせ まちづくり推進課（内線637）

## 市民と行政の協力で

協働という言葉は、市民と行政の、新しい関係や考え方をとらえる場合に、多く使われるようになってきました。

市は、協働のまちづくり指針を平成19年度に策定しました。指針では、「協働は、お互いに良きパートナーとして対等な立場に立ち、それぞれの特性を生かしていくこと。協力、連携して、個々では難しい社会的課題の改善や解決をしていくこと」としています。

協働の相手は、市民同士であったり、市民と行政であったり、市民と企業であったりします。協働のまちづくりと

## 地域型と目的型協働

当市は、全国でも先進的な地域自治区を設置し、地域のまちづくりを進めています。この状況から、市の協働のまちづくり指針では、地域を舞台に実施される、地域型協働事業と、地域を越えて、市全体で取り組まれる目的型協働事業の二つのタイプがあると位置付けました。

## 市民提案と行政提案

協働はどのように生まれてくるのでしょうか。大きく分けると、市民の方が気付き、行政に呼び掛ける市民提案と、行政職員が気付き、市民へ呼び掛ける行政提案があります。それぞれ共に、暮らしやすいまちにしようと思つ気持ちや、自分たちの地域を思い、行動する人たちの発見や発想から生まれます。

市民も行政も、お互いに情報を発信し合い、多くの情報や課題を共有します。その中で、さまざまな問題に気づき、自分たちのまちは自分たちでつくっていくこうとする意識を持つことが大切です。

## 市民の力 + 行政の力

### 市民活動は大きな力

平等、公平を求められる行政の対応はどうしてもスローになりやすく、地域での大きな問題も、市全体では小さな問題となる場合もあります。市民だからこそ、気付ける問

題も、行政だけでは、解決が遅れることがあります。

しかし、まず自らが行動してみようとする市民活動は、動きも速く、きめ細かい対応が可能になります。

協働の事業を実践する過程から、市民も行政も相互に学習することで、お互いに分かり合い、助け合っている状態です。こうした協働のまちづくりは、地域への愛着と責任意

### 同じ目的を共有する

識を育てます。市民と行政が一緒に考え、行動することには、大きなメリットがあり、活力のある持続可能なまちづくりにつなげていくことができます。

協働のまちづくりを進める上で大切なことは、パートナー同士、お互いが対等な立場で、同じ目的を持っている

ことです。「押し付け」や「こり押し」は信頼関係を壊します。目的が同じでなければ協働は成り立ちません。十分な話し合いが大切です。市民も行政もお互いに対等であり、相互に納得しなければ、協働にはなりません。

また目的に賛同する人は誰でも、活動に参加できます。内容は公表し、活動を常に検証していくことも大切です。

**行政提案型協働事業がスタート**

市では、5つの協働事業を提案し、一緒に事業を展開する担い手（パートナー）を募集します。

提案事業は、市防災センターの利用や地域での学習会を通して、自主防災組織の育成を目指す事業、市内の若者の定住と地域の活性化を目的に独身男女の出会いをサポートしていく事業、子育ての交流の場を設けるなど、地域ぐるみで子育てを支援していく事業、地域や企業など、みんなで健康づくりを考え、推進していく事業、学校給食の食材を市内の農産物でまかない、子どもたちの食育を支えていく事業の5事業です。

担当課から、この事業に期待する思いを聞きました。



防災対策課  
課長 加藤勝巳

**防災組織育成のお手伝いをしましょう**

各地で起きる大地震、救助された人のほとんどは、地域住民によるものでした。地域のつながりを持った自主防災組織こそが、いざというときに、貴い命を救います。

この自主防災組織の育成を協働事業として提案します。各地域での講習会や防災センターでの研修会などを一緒に進めていき、市内全域に自主防災組織が出来ることを目指します。



少子化対策推進室  
室長 小林敏博

**すてきな出会いと、楽しい子育てを支援**

市内の未婚男女に出会いの場を提供し、幸せな結婚を目指した支援を協働で行う事業です。結婚を機に、市内での定住を期待しています。

子育て支援は、自治会や子ども会など、担い手はいろいろ考えられます。地域やグループで子育ての交流の場を設けるなど、日常的な子育て支援の仕組みと、誰もが子育てを楽しめる環境づくりを協働で進めます。



健康推進課  
課長 安田喜子

**地域ぐるみの健康管理を考えましょう**

この提案事業の担い手は、地域の住民グループや企業です。お互いに健康について話し合ったり、食事の学習会をしたり、みんなで健康を考える環境が出来るとことを期待しています。

行政としても、病気の予防方法や医療費の仕組みなど、さまざまな情報を提供していきます。地域や年齢層など、それぞれに合った健康づくりを一緒に考えましょう。



市学校給食センター  
所長 伊藤秀明

**農家の皆さん、一緒に給食を支えませんか**

地元で採れた野菜は、新鮮でおいしく、生産者の顔が見える食材です。学校と連携し、児童生徒と生産者の交流などを通して、食に感謝する気持ちを、育てていくことができます。

事業を進める上での課題は、安定した供給量の確保です。農家の皆さんには、連携し組織を作るなど、生産者同士のネットワークで対応してほしいと考えています。

協働の担い手を募集

# 「私たちと一緒に活動してください」

## 一足お先に活動中

インタビュー

## 連携が生み出す大きな活動力

ブックサポーターかみやはぎ  
代表 森井路子さん



市中央図書館では、地域読書活動推進事業として、図書館のPRや読書推進などを地域住民と一緒に進めていく取り組みをしています。

上矢作地区では、「ブックサポーターかみやはぎ」が図書館と協働で、この事業に取り掛かり、1年以上が経過しました。

代表の森井さんに活動について伺いました。

**ブ**ックサポーターかみやはぎは、市中央図書館からの事業提案をきっかけに、平成19年10月に発足しました。当時、PTA活動などで読み聞かせをしていた保護者を中心に結成し、会員は12人います。活動は、図書館のPRを始め、子どもたちへの読み聞かせや保護者のための勉強会、イベントの開催、公民館図書室の整備などです。

**活**動していく上で大切にしていることは、サポーター自身も楽しむということ。みんなで知恵を出し合い、自分たちも楽しめるような面白い企画を考えています。楽しむことは、いい活動を生み出す原動力となり、活動の継続にもつながります。

**図**書館と一緒に活動できたことは、私たちのグループにとって、大きな力となりました。専門的な講習を受けたり、司書さんからアドバイスをもらえたりするなど、サポーターは、いろいろな面で学ぶことができ、グループとして、人材育成を図ることができました。サポーター

**こ**れからも、サポーターの輪を広げ、さまざまな楽しい企画を考えていきます。多くの方が本に触れ、本に親しみを持てるような環境づくりをしていきます。

私たちは、活動を通して多くの人と触れ合うことができました。活動が、人のつながりを生み、地域をつなぐ力になればうれしいです。

また図書館だけではなく、公民館との協働が、学校や保育園の理解と協力を得ることにつながりました。連携により、私たちの活動の場は大きく広がり、読書活動をより効果的に進めていくことができていると思います。

**学**校や保育園、公民館、図書館、活動グループそれぞれが持っている力を、お互いに連携し、協力し合うことで、その力は2倍にも3倍にもなるように感じます。協働事業だからこそ、数多くの活動ができるのだと実感しています。

協働のまちづくりを目指します

# 5つの行政提案型 協働事業を紹介します

行政だけでは解決できないこと、市民や市民活動団体などと協働で行うことで、より効果が高まると考えられることなどを事業として設定し、次の5つの協働事業を提案します。

同時に、協働の担い手（パートナー）となる、市民活動団体や地域のグループ、地域まちづくり実行組織、企業などを募集します。

**選考方法** 協働の担い手については、本事業の主旨や目的と、応募要領にある選考基準を照らし合わせ、決定します。

**応募方法** まちづくり推進課と各振興事務所（振興課）に備え付けの応募用紙に、必要事項を記入し、まちづくり推進課へ提出してください。

**応募要領**、応募用紙などは、まちづくり推進課、各振興事務所（振興課）のほか、市公式ウェブページ（<http://www.city.ena.lg.jp/>）からダウンロードできます。

**募集期間** 随時可能です。

**その他** 具体的な役割分担や経費負担などの詳細は、担当課と協議し、決定してまいります。

**申し込み・問い合わせ** まちづくり推進課（内線637）

## 赤ちゃんの地域デビュー

### 地域で支える子育て 「こんにちは赤ちゃん」

～みんなで子育ての輪を広げよう～

地域の中で支え合う子育てを推進する市民活動団体などを募集

**目的** 核家族化が進む中、子育てに悩む親も少なくありません。地域ぐるみで子どもの成長や子育てを支えていくことは、楽しい子育てにつながります。地域やグループで、子育ての交流の場を設けるなど、地域で見守り、支える仕組みづくりを目的とします。

**実施内容** 地域の親子が気軽に集い、交流や情報交換ができる場を提供し子育てを支援

**実施場所** 市内全域（各地域の公民館など）

**担い手の役割** 子育て交流会の開催（企画・運営）、新生児宅訪問（赤ちゃんとお母さんを地域の仲間として誘います。赤ちゃん、お母さんの地域デビューのお手伝い）

**市の役割** 子育て交流会（地域の交流の場）の開催支援、子育てに関する情報提供、関係機関との連絡調整など

**応募資格** 地域での子育て支援の取り組みを希望する市民活動団体、地域の部会（健康部会、福祉部会など）または自治会など

**市の事業費負担** 新生児宅訪問に対しての事業費があります。（詳細は協議の上決定）

**事業開始予定** 随時

**問い合わせ** 子育て支援課少子化対策推進室 25 1155

## 自主防災組織の育成

### 地域の防災力向上を 支援します

～自主防災組織育成のお手伝い～

自主防災組織の育成や防災活動の支援を担う市民活動団体などを募集

**目的** 災害時は各地域の自主的な活動が重要なポイントとなり、そのためには自主防災組織の育成が必要となります。この事業は各地域の自主防災組織などへ出向いて、防災講座などを行い、地域の防災力を高めることを目的とします。

**実施内容** 自主防災組織などから派遣依頼があった場合に指導などを実施

**実施場所** 市内各地域（自主防災組織、自治会など）、市防災センター（市消防防災センター3階）

**担い手の役割** 市内各地域の自主防災組織、市防災センターで防災講座などの指導、家具転倒防止事業の企画、運営など（年間想定活動日数100日程度）

**市の役割** 指導についての研修会開催など

**応募資格** 防災意識、活動に対し理解と関心があり、年間を通じて事業を担える市民や市民活動団体など（土、日の場合もあります）

**市の事業費負担** 活動に対する事業費があります（詳細は協議の上決定）

**事業開始予定** 平成21年4月

**問い合わせ** 防災対策課防災係（内線317）

## 地域で健康を考える

### みんなで支える 健康づくり

～地域・企業の皆さんの健康づくりを応援します～

地域の健康づくりを推進する各地域の健康部会・福祉部会、企業を募集

**目的** 健康づくりは、仲間と一緒に工夫して、学び合い、地域ぐるみで、考えていくことが大切です。地域の健康づくりを支える拠点として、各地域の中に健康部会、福祉部会などが存在します。この提案は、その健康部会や福祉部会などと行政が協力・連携して地域の健康づくりをより効果的に進めることを目的としています。企業の健康づくりについても同様です。

**実施内容** 保健師などが、地域や企業の学習会などに参加し、皆さんと共に健康づくりを検討していきます。

**実施場所** 各地域の健康部会、福祉部会、企業の活動場所

**担い手の役割** 健康づくりのための学習会などの開催

**市の役割** 健康づくりの場に参画し、共に健康を考えます。

**応募資格** 健康づくりの場に保健師などの参画を希望する地域の部会や企業

**事業開始予定** 随時

**問い合わせ** 健康推進課保健指導係（内線220）

## 幸せな結婚への支援

### 「すてきな出会いと結婚 を応援します」

～独身男女の出会いをサポート～

結婚相談などの企画、運営を担う市民活動団体などを募集

**目的** 独身男女を取り巻く環境や意識の変化、出会いが少ないなどから、結婚が遅くなり、未婚の方が増えています。この事業は、市内に居住する独身男女の結婚問題を支援することで、結婚を機に市内への定住と、地域の活性化を図ることを目的としています。

**実施内容** 「恵那ことぶき結婚相談所」が行ってきた結婚相談などを、市民と行政の協働事業として、引き継いで行うものです。

**実施場所** 市内全域（市役所、公民館などの相談会場）

**担い手の役割** 結婚相談、紹介活動、イベントの開催など

**市の役割** 広報、関係機関との連絡調整、イベントの開催など

**応募資格** 個人のプライバシーの保護に対応でき、年間を通じて事業を担える市民活動団体など（土、日の場合もあります）

営利を目的とする団体などは不可です

**市の事業費負担** イベント開催費用などの事業費があります。（詳細は協議の上決定）

**事業開始予定** 平成21年4月

**問い合わせ** 子育て支援課少子化対策推進室 25 1155

## 給食に地元の野菜を

### 農家とつながる 学校給食

～子どもの食育を支えてみませんか～

地元産農産物などを各学校給食センターへ供給できる生産農家のグループを募集

**目的** 地元産農産物や農産加工品を、学校給食に供給できる仕組みをつくりたい。地元の食材を使用し、生産者の顔が見える給食を届け、児童生徒に食の大切さを伝えたい。

**担い手の役割** 地元産農産物などの生産と納入、児童生徒との交流会への参加など

**市の役割** 地元産農産物などを納入できる仕組みづくり、生産農家と児童生徒の交流会の開催、農業振興や地域の活性化

**説明会の開催** とき 2月23日（月）午後3時 ところ 岩村振興事務所2階大会議室（応募を考えている方は出席ください）

**応募資格** 計画に基づき学校給食センターまで納入できる生産者グループ、児童生徒との交流会に参加できることなど

**その他** 納入量、価格は学校給食センターと協議して決定します。

**事業開始予定** 随時

**問い合わせ** 農業振興課農村交流係（内線544）、市給食センター

26 1633

説明会への参加は、まちづくり推進課（内線637）へお申し込みください

